

令和4年度 第1回羽曳野市国民健康保険運営協議会（会議録）

〔開催日時及び開催場所〕

- ・日時：令和4年11月17日（木） 午後2時～午後3時30分
- ・場所：羽曳野市役所本庁議会第2委員会室

〔出席委員数〕

- ・14人中12人出席

〔会議次第〕

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 報告
 - (1) 令和3年度 羽曳野市国民健康保険事業実績について
 - (2) 羽曳野市国民健康保険令和3年度保健事業等実績報告について

〔議事概要〕

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 報告
 - (1) 令和3年度 羽曳野市国民健康保険事業実績について
 - (2) 羽曳野市国民健康保険令和3年度保健事業等実績報告について

○質疑・意見

- (1) 令和3年度 羽曳野市国民健康保険事業実績について

（委員）

歳入の繰入金は、どこから繰り入れしているのか。

（事務局）

法で定められた保険基盤安定負担金分として、国費と府費が一般会計に入り、それに法で定められた市負担分を足して、国保特会へ繰り入れしている。

（委員）

府支出金が予算現額より大きく上回っているのはなぜか。

（事務局）

予算については前年度の実績で見込んでいたため、該当年度の実績があがれば、それに比例して上がることとなる。令和3年度は実績が見込みよりあがったため、予算現額より上回った。

(委員)

特定健康診査等負担金が予算現額より減っているのはなぜか。

(事務局)

予算計画の時点では、受診率の向上を見込み、受診者を8,500人くらいとして予算計上していたが、7,000人を切る実績となったため、特定健康診査等負担金の額が減った。

(委員)

傷病手当金の推移はどうか。

(事務局)

令和2年度は1件、令和3年度は32件となっている。令和4年度も令和3年度に引き続き増加傾向である。

(2) 羽曳野市国民健康保険令和3年度保健事業等実績報告について

(委員)

大腸がん検診が特定健康診査と同時に受けられるようになったことによる効果はあったか。

(事務局)

大腸がん検診の受診率は向上した。特定健康診査の受診率には大きな影響はなかったが、市民の方からは同時に受けられるようになってよかったとの声をいただいている。

(委員)

大阪府と共同で行った特定健康診査の受診率向上の啓発事業において実施したCMの効果はあったか。また、どれくらい受診につながったか。

(事務局)

啓発事業のCMについては、府全域へのアプローチであり、その府事業の効果について市は把握していないが、特定健康診査の受診率の向上にはつながった。